

法人企業景気予測調査

(平成31年4～6月期調査)



BSI (Business Survey Index) の計算方法

例「景況判断」の場合

前期と比べて

- 「上昇」と回答した企業の構成比…40.0%
- 「不变」と回答した企業の構成比…25.0%
- 「下降」と回答した企業の構成比…30.0%
- 「不明」と回答した企業の構成比…5.0%

$$\text{BSI} = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比 } 40.0\%) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比 } 30.0\%) = 10.0\% \text{ ポイント}$$

[財務部]

No.3

▶ 調査の概要

調査の目的

本調査は、企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(2、5、8、11月)実施。

調査の時点 令和元年5月15日

調査対象期間

判断項目: 平成31年4～6月期及び令和元年6月末見込み、
令和元年7～9月期及び9月末見通し、
令和元年10～12月期及び12月末見通し

計数項目: 令和元年度実績見込み

調査対象企業の範囲

沖縄県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下「資本金」という。)1千万円以上(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上)の法人

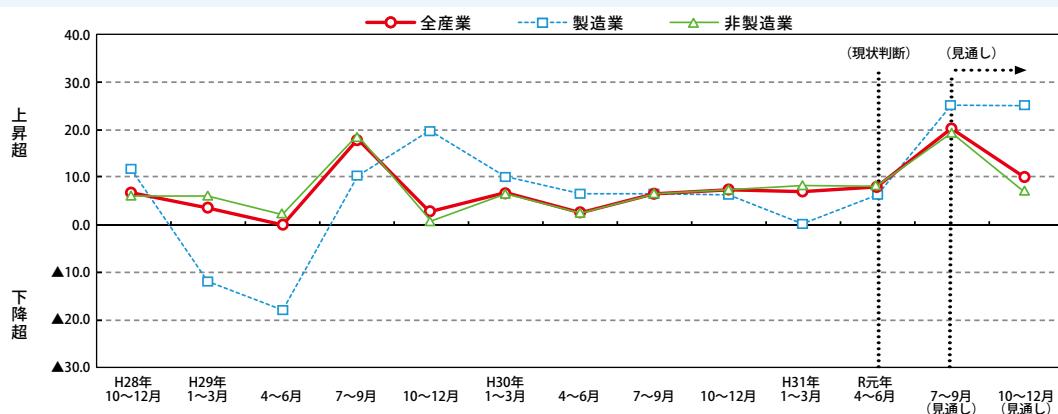
調査対象企業数及び回収状況は次のとおりである。

対象企業数: 108社 回答企業数: 103社 回収率: 95.4% (単位: 社)

	対象企業数	回答企業数	回収率(%)
全産業	108	103	95.4
製造業	16	16	100.0
食料品製造業	5	5	100.0
非製造業	92	87	94.6
建設業	14	14	100.0
情報通信業	9	9	100.0
運輸業、郵便業	7	7	100.0
卸売業、小売業	14	13	92.9
不動産業、物品販貸業	18	17	94.4
サービス業	17	15	88.2
大企業(資本金10億円以上)	15	15	100.0
中堅企業(資本金1億円以上10億円未満)	30	29	96.7
中小企業(資本金1千万円以上1億円未満)	63	59	93.7

▶ 景況判断

企業の景況判断 BSI (%ポイント)



現状判断は「上昇」超で推移する見通し
先行きは「上昇」超幅が拡大、

	平成31年1～3月前回調査	企業の景況判断 BSI (原数值) (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)				(単位:%ポイント)
		平成31年1～3月前回調査	平成31年4～6月現状判断	令和元年7～9月見通し	令和元年10～12月見通し	
全産業	7.0	(▲ 4.4)	7.8	(6.1)	20.4	9.7
製造業	0.0	(12.5)	6.3	(12.5)	25.0	25.0
食料品製造業	▲ 16.7	(0.0)	60.0	(16.7)	40.0	40.0
非製造業	8.2	(▲ 7.1)	8.0	(5.1)	19.5	6.9
建設業	33.3	(▲ 26.7)	7.1	(6.7)	21.4	21.4
情報通信業	28.6	(▲ 28.6)	▲ 44.4	(0.0)	11.1	▲ 11.1
運輸業、郵便業	11.1	(11.1)	14.3	(▲ 22.2)	28.6	14.3
卸売業、小売業	15.8	(0.0)	23.1	(21.1)	38.5	7.7
不動産業、物品販貸業	11.1	(▲ 5.6)	0.0	(▲ 5.6)	0.0	0.0
サービス業	▲ 25.0	(▲ 6.3)	40.0	(12.5)	26.7	20.0
規模別						
大企業	▲ 25.0	(10.0)	6.7	(10.0)	13.3	▲ 13.3
中堅企業	18.8	(▲ 12.5)	3.4	(6.3)	24.1	17.2
中小企業	11.3	(▲ 4.8)	10.2	(4.8)	20.3	11.9

(注) ()書きは前回調査(平成31年1～3月期)時の見通し

